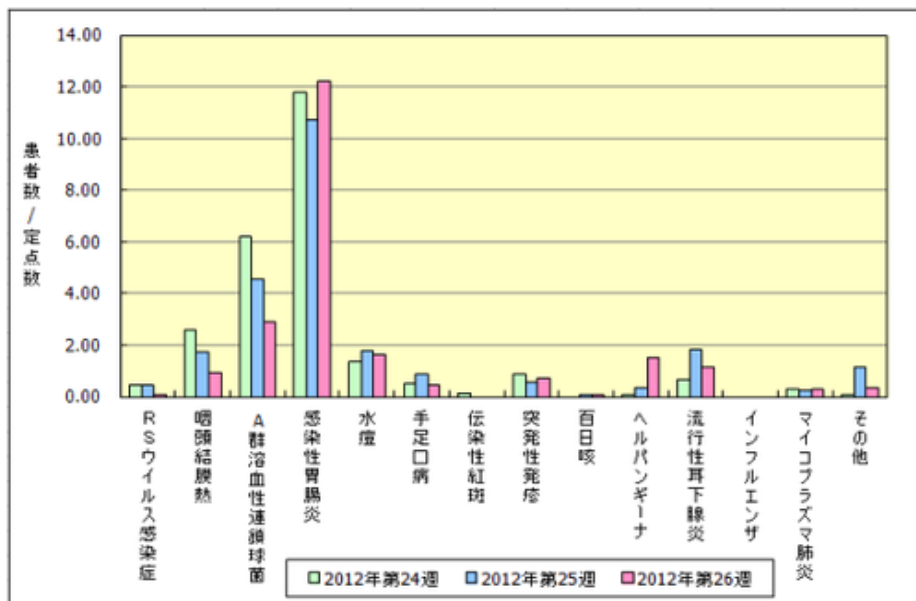


小児感染症の第26週(平成24年6月25日から平成24年7月1日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- 感染性胃腸炎が、定点あたり12.2と依然高値です。
家庭内や集団生活(学校、保育園、幼稚園等)で拡大する可能性があります。
引きつづき予防等の対応を心がけて下さい。
- ヘルパンギーナが、東南部で比較的高値です。(定点あたり 全体1.5、東南部3.5)
突然の発熱と口腔内の水泡が見られる疾患で、感染経路は飛沫、接触、経口感染です。



第26週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	7↑	4↓	4→	6↑	6→	1↓	0	0	1	0
咽頭結膜熱	5↑	15↑	14↓	36↑	24↓	13↓	1	9	3	0
A群溶血性連鎖球菌	120↑	85↓	62↓	87↑	64↓	41↓	15	14	4	8
感染性胃腸炎	221↑	226↑	238↑	165↓	150↓	171↑	75	23	52	21
水痘	12↓	18↑	21↑	19↓	25↑	23↓	7	3	5	8
手足口病	1→	4↑	4→	7↑	12↑	6↓	0	0	4	2
伝染性紅斑	0↓	2↑	1↓	2↑	0↓	0→	0	0	0	0
突発性発疹	12↑	8↓	5↓	12↑	8↓	10↑	4	1	3	2
百日咳	2↑	1↓	0↓	0→	1↑	1→	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	1↑	0↓	0→	1↑	5↑	21↑	3	3	14	1
流行性耳下腺炎	9↓	11↑	11→	9↓	26↑	16↓	1	13	1	1
インフルエンザ	6↓	3↓	2↓	0↓	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0↓	3↑	3→	4↑	3↓	4↑	0	0	3	1
その他	7↑	7→	6↓	7↑	22↑	6↓	1	1	4	0

第26週疾患毎発生状況表

第26週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～11ヶ月	1	0	0	15	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0
1歳	0	3	1	23	3	0	0	6	0	4	0	0	0	3
2歳	0	2	4	21	5	2	0	0	0	2	2	0	1	0
3歳	0	3	2	21	5	1	0	0	0	9	1	0	0	0
4歳	0	2	4	28	6	0	0	0	0	2	2	0	1	0
5歳	0	2	11	22	1	2	0	0	0	1	2	0	0	1
6歳	0	0	9	11	1	0	0	0	0	2	2	0	1	0
7歳	0	0	2	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8歳	0	1	2	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
9歳	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
10～14歳	0	0	4	11	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	1	13	41	171	23	6	0	10	1	21	16	0	4	5

第26週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所